

パテック フィリップ ジュネーブ
Watches & Wonders Geneva 2024
2024年4月9日

ワールドタイム 5330G-001 モデル 現地時刻と同期した世界初の日付表示を備える新世代のワールドタイム

2023年6月に東京で開催されたウォッチアート・グランド・エキシビション（東京2023）の機会にリミテッド・エディションとして発表された5330モデルが、マニファクチュール パテック フィリップの現行コレクションに加えられた。この新世代のワールドタイム・モデルは、都市表示リングの12時位置に表示されている選択されたタイムゾーンの時刻（センターの時、分針が表示する現地時刻）と同期した日付表示という、特許取得の世界初の機構を搭載している。革新的な差動システムを備えた新しい自動巻キャリバー 240 HU Cは、先端をレッドにラック塗装したハンマー型ガラス製センター指針が文字盤外周に日付を表示する。ホワイトゴールドのエレガントなケースが、センターに《カーボン》パターンを配したブルーグレー・オパール文字盤と組み合わされている。パテック フィリップのワールドタイムにおけるこの新しい技術的な進化は、マニファクチュールのトラベルウォッチのレパートリーをさらに充実させることは疑いを容れない。

大西洋横断飛行黎明期の1930年代にジュネーブのマスター・ウォッチメーカー、ルイ・コティエの発明に基づいて導入されたパテック フィリップの著名なワールドタイムは、以後技術的な最適化が続けられた。1950年代からは、2つの回転リング（都市表示リングと24時間表示リング）により、24タイムゾーンの時刻を同時に、かつ常時読み取ることができ、同時にセンターの時・分針が現地時刻（12時位置に表示されている選択されたタイムゾーンの時刻）を表示するようになった。この独創的なシステムと、多くのモデルに見られるクロワゾネ本七宝による多色地図、または手仕上げギョシェ装飾を配した文字盤センターにより、ワールドタイムは最も著名なパテック フィリップ・モデルのひとつであり、美しい機械式タイムピースの愛好家から最も追い求められるモデルのひとつとしての地位を確立している。

技術革新の分野

1999年、パテック フィリップは特許取得のエクスクルーシブな機構によりワールドタイムの機能を大幅に向上させた。すなわちただひとつのプッシュボタンを押すだけで、分と秒の精度に影響を与えずに、すべてのワールドタイム表示（都市表示リング、24時間表示ディスク、センター時針）を1時間刻みで同時に回転させてタイムゾーンの変更を行うことを可能としたのである。この技術革新は2000年、5110モデルによって発表された。より最近になると、技術陣は、ワールドタイムをマニファクチュールの他の伝説的なコンプリケーション機能のうちの2つと組み合わせた。2016年には、自動巻キャリバー CH 28-520 HUを搭載した、ワールドタイム・クロノグラフ 5930モデルが発表された。また2017年、ニューヨークのグランド・エキシビションの機会に、パテック フィリップは自動巻キャリバー R 27 HUを搭載し、現地の時刻を音で知らせる初のワールドタイム・ミニット・リピーター 5531モデル（10本のリミテッド・エディション）を発表した。2018年には、このモデルが現行コレクションに加えられた。



毎日の生活に有用な機能を新たに統合

マニュファクチュール パテック フィリップは今回、ワールドタイムに初めて日付表示を搭載することにより、パテック フィリップ・ワールドタイムの歴史に新しい重要なページをつけ加えた。この日付表示という一見きわめて単純な機能は、実は真の技術的チャレンジを突きつける。これまでの日付表示を備えたワールドタイムでは、タイムゾーンを変更する際、常に時刻と日付を個別に調整する必要があった。しかしパテック フィリップは、ユーザー・エクスペリエンスをできるだけ実用的で快適なものにすることを意図し、日付表示が現地時刻（12時位置に選択され、センター時・分針が表示するタイムゾーンの時刻）と機械的にリンクし、タイムゾーン変更の際、調整の必要なしに日付表示が自動的に前進・後退いずれの方向にも変わることを望んだのである。すなわち真夜中を過ぎ、日付が翌日に変わる際も、太平洋の真中の日付変更線を西から東に越えて日付が前日に戻る際も、日付表示の変更を自動化する、ということである。ちなみにジュール・ヴェルヌの小説『八十日間世界一周』の中で主人公フィリアス・フォッグ卿は、後者の事実を忘れて80日で世界を一周するという賭けに負けたと思ひ込んだが、もし彼が新しい5330G-001モデルを腕に着用していれば、このような間違いを即座に回避できたであろう。ワールドタイム・ミニット・リピーター 5531モデルの場合と同様、課題は、同一のムーブメント内に2つのコンプリケーション機能を共存させるだけでは終わらない。2つの機能が相互に作用し、ワールドタイムが日付表示を《制御》する（5531モデルの場合は、ワールドタイムがミニット・リピーターを《制御》する）必要があった。ゆえにこの日付表示機構は、日付変更の際完璧な信頼性を保ち、まったくムーブメントへの損傷のリスクなしに、前進・後退いずれの方向にも動作する必要があったのである。

革新的な特許取得の日付表示差動システム

この有用で使いやすいエクスクルーシブな機能を提供するために、マニュファクチュール パテック フィリップは超薄型自動巻ムーブメント、キャリバー 240 HUをベースにした新しいムーブメント、キャリバー 240 HUCを開発した。前者は2000年以来、追加機能のないパテック フィリップ・ワールドタイムに搭載されている。この革新的なキャリバー 240 HUCの最初の特徴は、それのみで70個の構成部品を数える日付表示モジュールにある。現地時刻の日付表示制御は、2つの同軸の歯車（星車）からなる特許取得の中央差動システムによって行われる。外側の星車（直径の大きい方、62歯）が時計回りに回転すると、日付表示針は時計回りに1ステップ進む。内側の星車（31歯）が時計回りに回転すると、日付表示針は反時計回りに1ステップ戻る。2つの星車が一緒に時計回りに回転する（すなわち日付表示針が同時に前進、後退する）と、差動システムにより日付表示針は動かない。10時位置のプッシュボタンを押す毎に、都市表示リング、24時間表示リング、センター時針が1時間刻みで前進するだけでなく、必要に応じて日付表示も前進または後退する。この複雑だがきわめて使いやすいシステムは、ユーザー指向のパテック フィリップの創作哲学を完璧に体現している。さらに追加機構にもかかわらず、新しいキャリバー 240 HUCの厚みは、キャリバー 240 HUから0.7 mm（3.88 mmから4.58 mmへ）増加したに過ぎないため、スリムでエレガントなケース・デザインが可能となっている。

オリジナルで読みやすい表示

新しいワールドタイム 5330G-001モデルの第2の特徴は、日付の表示方法である。パテック フィリップは、先



《報道資料》 ページ 3

端部分をレッドにラック塗装したハンマー型のセンター日付表示針を採用した。この表示針が、文字盤外周に美しい奥行き効果を生み出しているベベルカットされたシルバーのフランジに転写印刷された、1から31までの目盛上に日付を表示する。日付表示針という動きの少ない針が他の情報の読みやすさを妨げないようにするため、マニファクチュール技術陣は、パテック フィリップとしては初めての透明なガラス製指針を考案した。

気品溢れるエクスクルーシブな美学

すべてのパテック フィリップ・ワールドタイムと同様、新しい5330G-001モデルは、きわめて洗練された気品溢れる美学によって際立っている。エレガントな色合いのブルーグレー・オパール文字盤のセンターには《カーボン》パターンが施され、モダンでダイナミックなタッチを加えている。24時間表示リングは、昼夜を示すため、それぞれ正午を象徴する金色の小さな太陽が描かれたシルバー、真夜中を象徴する金色の三日月が描かれたブルーグレーの2つのゾーンに色分けされている。都市表示リングのオークランドとミッドウェイの間に記された赤いドットは、日付変更線を示している。12時位置に表示されている選択されたタイムゾーンの現地時刻は、ホワイト夜光付ホワイトゴールドのファセット仕上げドフィース型時・分針とボタン型植字アワーマーカーにより表示される。全面ポリッシュ仕上げの直径40 mmのホワイトゴールド・ケースは、カーブした溝入りの2段ラグが特徴である。サファイヤクリスタル・バックを通して新しい自動巻キャリバー 240 H.U.C.のアーキテクチャーと構成部品の精緻な仕上がりを鑑賞することができる。文字盤カラーに呼応したデニム柄のブルーグレー・カーフスキン・バンドは、ホワイトのハンドステッチがアクセントを与え、ホワイトゴールドの折り畳み式バックルを装着している。

タイムゾーンと日付変更線

長い間、各国、さらには各都市も多かれ少なかれ経度に基づいて独自のローカル時刻を持ち、旅行者は常に時計の時刻を修正する必要があった。しかし交通と通信の急速な発展により、時間システムの統一が必要となってきた。1884年、ワシントンで開催された国際子午線会議において、地球を各々経度15度（1時間）からなる24のタイムゾーンに分割し、すでに航海の基準として用いられていたグリニッジを通る子午線を経度0度子午線とすることが決定された。

このシステムでは、オークランド（ニュージーランド）が属するタイムゾーンは、グリニッジ標準時より12時間進んでおり（UTC + 12）、地球上で最初に新たな1日が始まる。ミッドウェイ（北太平洋のアメリカ領環礁）が属するタイムゾーンは、グリニッジ標準時より11時間遅れており（UTC - 11）、地球上で最後に日付が変わる。このためミッドウェイからオークランドへ西に移動する場合、日付を1日進める必要があり、オークランドからミッドウェイへ東に移動する場合、日付を1日遅らせる必要がある。オークランド・ゾーンとミッドウェイ・ゾーンの間位置する太平洋中央の日付変更線（国際条約の対象とはなっていない）は、各々の島によるタイムゾーンの選択に応じて180度子午線の左右をジグザグに曲がった形をとっている。

ただしこれには例外がある。ロンドンで午前11時から正午12時の間は、ミッドウェイでは夜中の12時から午前1時までの間となり、オークランドでは、夏時間ではないと仮定すれば午後11時から夜中の12時の間となる。したがってこの1時間の間、地球のすべての場所の日付は同じとなる。特許取得の差動システムにより、新しい



《報道資料》 ページ 4

ワールドタイム5330G-001モデルは、この場合、10時位置のプッシュボタンを押して別のタイムゾーンを選択しても、日付表示は変わらない。この差動システムがなかったら、日付がすべてのタイムゾーンで同一となる1時間の間にオークランドとミッドウェイの間にある日付変更線を通ると、時計は、ひとつは日付を1日進め、もうひとつは1日後退させるという2つの矛盾する情報を同じ星車に送ることになり、ムーブメントがブロックされてしまうことになる。

キャリバー 240 HU Cに関する技術特許

・ワールドタイム・タイムピース（欧州特許番号EP2790069 B1）

革新的な差動システムを備えたこの機構により、日付表示を現地時刻に同期させ、タイムゾーンを変更する毎に日付表示を自動的に調整することができる。タイムゾーンの変更による日付の変更は、前進・後退いずれの方向にも行われる。

《本資料に関するお問い合わせ先》

PP Japan 株式会社

パテック フィリップ ジャパン

広告・広報部 部長

大塚 和泉

電話：03 - 5209 - 8018（直通）

FAX：03 - 3256 - 7558

izumi@ppjapan.com

《ご掲載いただく場合の読者お問い合わせ先》

パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター

電話：03 - 3255 - 8109

パテック フィリップ ホームページ：<https://www.patek.com>





技術仕様

ワールドタイム5330G-001モデル

ムーブメント：	キャリバー 240 HU C 超薄型自動巻ムーブメント、24タイムゾーン表示、現地時刻、現地時刻と同期した日付表示
直径：	30.5 mm
厚さ：	4.58 mm
部品総数：	306個
石数：	37石
連続駆動可能時間：	最小38時間、最大48時間
巻き上げローター：	22金ゴールド偏心マイクロローター、単方向巻き上げ式
振動数：	21,600 振動（片道）/時（3 Hz）
テンプ：	Gyromax®
髭ぜんまい：	Spiromax® (Silinvar® 製)
髭持ち：	可動式
セッティング機能：	リュウズの2位置： ・押し込んだ位置： 巻き上げ ・引き出した位置： 時刻合わせ
表示：	指針： ・現地時刻の時針・分針（センター） ・日付表示（センター） 表示リング： ・24の都市名を記載した都市表示リング ・昼夜表示を備えた24時間表示リング
プッシュボタン：	タイムゾーン選択（10時位置） （1回押すごとに現地時刻を1時間進め、日付表示は現地時刻と同期）
調整ボタン：	日付（8時位置）
刻印：	パテック フィリップ・シール





外 装

- ケース： 18金ホワイトゴールド仕様
サファイヤクリスタル・バック
3気圧防水
- 寸 法： 直径（10時～4時）：40 mm
幅（9時～3時、リュウズを含む）：41.95 mm
長さ（ラグ～ラグ）：49.74 mm
総厚（サファイヤクリスタル・バック～ラグ）：11.77 mm
厚さ（ガラス～ガラス）：11.57 mm
ラグ間隔：20 mm
- 文字盤：
 - ・ベベルカットされた文字盤外周フランジ（シルバー）にブルーグレーで転写された日付目盛
 - ・都市表示リング：ブルーグレーで着色した真鍮地に、シルバーで都市名を転写
 - ・24時間表示リング：洋銀製、昼の部分はシルバーにブルーグレーで転写された時刻の数字とゴールドの太陽のシンボル、夜の部分はブルーグレーに着色され、シルバーの時刻の数字とゴールドの月のシンボル
 - ・文字盤センター：《カーボン》パターンのブルーグレー・オパール
 - ・18金ホワイトゴールドのファセット仕上げドフィーヌ型時・分針
 - ・先端をレッドにラック塗装したハンマー型ミネラルガラス製日付表示針
 - ・18金ホワイトゴールドのファセット仕上げ植字ボタン型アワーマーカー
- バンド： デニム柄ブルーグレー・カーフスキン・バンド、ホワイトのハンドステッチ、18金ホワイトゴールドの折り畳み式バックル

